

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	健康栄養学部		
科目名称 [英語名称]	特別支援教育 [Special support education]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	421120	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	本田 和也			学位授与の方針 との関連			
授業概要	<p>本授業の目的は、教育者(中学校, 高等学校)に求められる特別支援教育の基礎的な専門性を養うことである。特別支援学校での指導経験を活かし、本授業では、ICFに基づき「障害の捉え方」を学んだ上で、様々な障害の理解とともに、その指導のあり方について学んでいく。</p> <p>また、中学校等における障害児の指導の形態(通級による指導, 特別支援学級)や校内指導体制(特別支援教育コーディネーターや校内委員会の役割)といった、特別支援教育の現状とともにそれらの課題の理解を図っていく。</p>						
関連する科目	履修前に「教育心理学」を履修し、子どもの心の発達及び学習を学んでおくことが望ましい。						
授業の進め方と方法	<p>基本的に講義を中心とし、パワーポイントや動画など多様な手段を用いて展開する。</p> <p>また、学びをさらに深めるために、グループによるディスカッションやプレゼンテーションを行う経験を通して、深化を図る。</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害について 2. 障害の捉え方 ICFを踏まえた障害の捉え方について学ぶ。 3. 視覚障害 4. 聴覚障害 5. 肢体不自由 6. 知的障害 7. 言語障害 8. 発達障害－LD－ 9. 発達障害－ADHD－ 10. 発達障害－ASD－ 発達障害をはじめとする様々な障害について理解し、その支援のあり方について学ぶ。 11. 出生前診断 12. 家庭及び関係機関等との連携 13. 校内委員会と特別支援教育コーディネーター 14. 個別の教育支援計画と個別の指導計画 15. 通級による指導と特別支援学級による指導 家庭や関係機関との連携及び特別な支援を必要とする子どもの支援方法について学ぶ。 						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> (1)ICFに基づき、障害の捉え方を説明することができる。 (2)発達障害をはじめ、様々な障害について理解し、支援のあり方について考えることができる。 (3)特別な配慮を要する子どもの教育の実際について、現状を理解し、課題を考えることができる。 						
授業時間外の学修	<p>【予習】 授業の中で、次回の授業内容・課題などを提示するので、各自で確認したり、調べたりしておく(1時間程度)</p> <p>【復習】 配布したプリント等を基に、習得した内容を整理したり、関連する資料・図書・文献等でさらに深めたりしておく(1時間程度)</p>						
課題に対する フィードバック	毎回の授業の最後に行う「ミニ確認テスト」等は、次時の授業時間に解説を行う。	評価方法	通常の授業に臨む態度と授業の最後に行う「ミニ確認テスト」等の内容(20%)、及び最終試験(80%)で総合的に評価する。				
テキスト	テキストは使用せず、適宜プリント等を配布する。						
参考書	<p>国立特別支援教育総合研究所(2020)『特別支援教育の基礎・基本2020』ジヤース教育新社(2,700円＋税)</p> <p>小林倫代編・著(2018)『教員と教員になりたい人のための特別支援教育のテキスト気付き、工夫して、つなげる。』学研(1,800円＋税)</p>						
備考							